

ときわの家だより

令和元年 10月25日 第229号 発行 ときわの家



生活支援員 前菌 千咲

気持ちのいい秋風が吹き渡る頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年はインフルエンザの流行が例年のピークより三ヶ月程早かったにもかかわらず、利用者の皆様・職員共々一人も発症することなくこの夏を乗り越えられたこと、ご家族の皆様よりお力添えいただいたおかげだと感謝しております。これから益々寒くなり、感染リスクの高まる時期となりますので、引き続き体調管理・感染症予防に努めていきたいと思っております。

最近のニュースと言えば大きな被害をもたらした台風19号であります。テレビや新聞で今も続く被災状況を知る度に心が痛みます。中でも、屋根近くまで浸水した老人ホームの入居者120名が全員無事という記事がとても印象深く、同じ福祉に携わる職員としてこの施設の災害対策を参考に、私たちが被災した時どう対応すべきかを学び活かさなければならぬと感じました。

「明日は我が身」という言葉があるように今回の台風を決して他人事とは思わず、もし災害が起きた時には日頃の避難訓練を思い出しながら利用者様の大切な命を守る命綱として冷静に対処していきたいと思っております。

最後になりますが、秋も深まり朝晩冷え込んで参りました。皆様くれぐれもご自愛ください。

十五夜コンサート



9月13日には十五夜コンサートがありました。みんなで十五夜にちなんだ「うさぎ」や「月」などの秋の歌に合わせて歌ったり、団子に見立てたボールで玉入れゲームをしたりして、十五夜を感じることが出来ました。最後には十五夜の壁面もみんなで完成させてお月様の下で「ポーズ！」

ジェラート販売



9月14日に余暇支援の行事として、ときわの家の正面玄関に移動販売のジェラート屋さん(花の木冷菓堂)が来ました。職員と一緒にお会計をした後はミルクや抹茶・チョコなど、色んな味の中から好きな味を選んで食べる事が出来ました。お天気も良く暑い一日だったので冷たいアイスで笑顔溢れる1日でした。

秋まつり

10月11日に、ときわの家の一大会事である秋祭りが行われました。台風の影響が心配され、予定していた日より1日前倒しとなりましたが、たくさんのご参加とご協力を頂き、ありがとうございました。

舞台では、明桜館高校のダンスやゲスト演奏、職員バンド、各班の出し物(スマイル班は曲に合わせて親子ふれあい、青空・ほのぼの・箱班は「パプリカ」の曲に合わせてダンス)では、会場が笑顔に包まれた時間となりました。各テーブルには焼き鳥、焼肉、おにぎりなどのメニューがたくさん並び、皆さん美味しく食べられていました。

祭りの最後には無事に花火も眺めることができ、秋空の下、利用者の皆様・保護者の皆様にとって素敵な時間を過ごすことができたことと思います。



老人会との交流会



9月12日に老人会の方々とときわの家にお招きして、交流会をしました。ほのぼのの班の利用者の指遊びやダンスの出し物を通して、地域の方々との交流を深めることが出来た1日でした。



ワックスがけ外出

スマイル班は広域公園、ほのぼのの班は蘭牟田池へ行きお弁当を食べました。



・11月・12月の主な行事

11/20 消防訓練
11/20 バイキング屋食
12/19 クリスマス会
12/28 餅つき

・11月の休業日

2(土) 3(日)
9(土) 10(日)
16(土) 17(日)
23(土) 24(日)

・12月の休業日

1(日) 8(日)
15(日)
21(土) 22(日)
29(日) 30(月)
31(火)

・予定は変更になる事もあります。

・営業時間は原則として
午前9時から午後4時までです。

* 今回の題字は坊野 いづみ様に書いて頂きました。